

# 今後の苫小牧のまちづくりを考える地域別懇談会

## 開催結果

と き：平成 29 年 11 月 20 日（月） 18：00～20：30

ところ：市役所 9 階

### 1. 開催概要

- (1) 開会挨拶
- (2) 本日のプログラムの説明
- (3) 苫小牧市都市計画マスタープランの概要報告
- (4) グループディスカッション：地域別構想について
- (5) 発表
- (6) 閉会

### 2. グループディスカッション結果（各グループの意見要旨）

#### (1) 西部西地域

##### ●多世代交流

- ・少子高齢化が進んでおり、現状のままでは多世代コミュニティは難しい。
- ・介護や福祉などソフト面の共助の仕組みづくりや大学・高専・南高校と地域の連携・交流が必要。

##### ●生活拠点

- ・多世代コミュニティの形成のためには、苫小牧西 I.C. を利活用した物流拠点の整備といった雇用や、総合病院や商業施設が充実した生活拠点の整備が必要。

##### ●文教地区

- ・文教地区を形成するためには、図書館などの交流できる施設が必要。

##### ●観光

- ・西部西地域には、アルテン、樽前ガロー、錦大沼公園、カントリークロスのコースなど、多くの観光施設があるので、積極的に活用すべき。また、西部にも道の駅を作るべきではないか。

##### ●防災

- ・第 2 給食センターは防災拠点として整備するべきである。樽前山の火山や津波もあるので、防災対策をもっと考えるべき。避難経路もきちんと示さないとならない。

##### ●公共交通

- ・錦岡駅が学生しか利用していない状態ではあるが、公共交通網の整備が必要。



## ●まちづくり全般

- ・職住分離から職住近接によるまちづくりを進めるということであったが、職住分離の考え方はもうしないのか。
- ・西部西地域の特色を生かした文教地区ということであれば、生活環境の整備を主題に掲げていかなければ、多世代コミュニティの場は実現しないのではないか。
- ・錦多峰川の河川敷の環境整備を行い、活用していくべき。
- ・国道 36 号が通行止めとなることもあるので、生活軸の苫小牧登別通を早く整備し、二方向の道路網が必要であり、計画に入れるべき。

## (2)西部東地域

### ●公共交通の新しいしくみ

- ・高齢化社会では、公共交通は必須であるが、今の路線バスでは限界があると思うので、デマンド方式や循環バスの導入を考えた方が良いのではないか。
- ・有珠の沢町などにおいては、日新町まで向かうデマンド型の交通が必要。

### ●防災(洪水)

- ・有珠川や小泉の沢川の洪水・豪雨災害及び土砂災害時は、避難経路が1本しかなく限られている。

### ●防災(津波)

- ・地震時に桜坂町まで避難してくる人がいるが、一時避難場所としての受け入れが必要か。
- ・老朽化した公営住宅の建替えが必要。
- ・市営住宅の屋上に避難することができるのではないか。

### ●高齢化→空き家・空き地の活用

- ・地域で高齢化が進行し、空き家が発生してきているので、若者を呼び込む施策の展開や、空き家・空き地を活用する施策について、行政でリーダーシップを発揮していくべき。
- ・空き家や防災などの対策を早めにしていくことで、一生住めるまちにしたい。

### ●若い人を呼び込む

- ・老朽化した公園の遊具の更新のほか、時代に合った子供の遊び場をつくるべき。
- ・公営住宅の用地を子育て世代向けに分譲してはどうか。

### ●日新町の機能維持

- ・日新町は生活する上で機能はある程度揃っている状況であり便利。
- ・各施設がバラバラに立っているので、1つの施設にまとまると良い。



### (3)中央部西地域

#### ●人手不足で人のつながりが薄く

- ・町内会の活動に意識ある方は高齢化が進み、うごける若い方には町内会活動への意識がない状況であり、町内会の人手不足が課題。

#### ●避難の問題

- ・西高校よりも南側の地域は津波浸水想定区域に含まれているが、西高校に避難するのが大変なのではないか。日ごろから考えておく必要がある。

#### ●バスの問題

- ・バスに乗れる人は車で移動する方が多く、反対に車に乗れなくなった高齢の方は身体の衰弱でバスにも乗れない状況だと思う。
- ・バスに乗れない人は、家族に運転してもらって移動している。
- ・そのためバスに乗る人は少なく、バスを維持するのは大変だが、公共交通があるのは大事だと思う。

#### ●人を呼び込む

- ・20代の女性が働く場所がなく、千歳や札幌に行っている。
- ・大型店舗などの店舗の集積がなく、不便に感じる。
- ・苫小牧の港湾や空港に近い利便性を生かし、工業のまちの主軸を大切にしながら、人を呼び込むことが必要。
- ・例えば、水族館を作ってはどうか。また、苫小牧私立高校は授業料は無料化だったと思うので、これをPRしてはどうか。
- ・コスプレ大会なども苫小牧の認知を高める上で大切だと思う。
- ・メガドンキーに22時過ぎに行くと海外の方が多いので、海外の方を大切にすることが苫小牧の活性化の上で大切だと思う。

#### ●苫小牧の最先端

- ・高齢化が進んでいるため、空き家問題も課題。
- ・高層の団地では、人間関係が希薄となっている。



### (4)中央部中地域

#### ●運動公園の活用による交流人口の拡大

- ・人口減少を交流人口の拡大でカバーするため、ハイランドのサイクリングターミナルの有効利用を考えてほしい。それを活かした合宿誘致をした方が良い。クロスカントリーのコースにすると、苫小牧に来るチームもあるのではないかと。

#### ●中心市街地の活性化

- ・中心部にホテルが足りないため、素通りする苫小牧から宿泊する苫小牧にしてはどうか。
- ・観光客はノーザンホースパークや道の駅で終わっているため、民間事業主や外国人を苫小牧で見ない。



- 中心部を良い街にしなくてはならない。JRの高架も費用が多くかかるが、検討した方が良いのではないか。
- 中心市街地に施設をただ作ればよいというわけではなくて、みんなに使われるものを作らなければならない。
- 大きなイベント公園として、毎週末イベントをやるというような活用をしたら良いのではないか。

#### ●町内会活動の停滞

- このエリアが最初にできて市街地が形成してきたが、その第1世代がなくなって、空き地ができ、その土地にアパートができ、そのアパートの住民が町内会に入らない。
- 町内会に加入しない人が多く、協力関係が薄くなり、安心安全な生活環境が難しくなっている。

### (5)中央部東地域

#### ●町内会運営

- 若い人の町内会活動の参加が少なく、役員の人手不足の問題があり、将来はロボット化も大事になるのではないか。

#### ●道路整備

- 線路を挟んで南北の道路が走っているが、もっと整備したが良い。
- 苫小牧環状線は通勤・通学時には混雑して渋滞するので一方通行も考えてもいいのではないか。
- 将来、移動は個人ヘリコプターで移動する時代になるのではないか。

#### ●歩道の整備(中通り)

- 歴史が古いまちであるので、歩道が狭い。歩行者にやさしくない。歩道を広くして、高齢者にとっても歩きやすい、人にやさしい道路が必要。
- 遊歩道と通学路を一体化して、いつも人が歩いているようにしても良いのではないか。
- 夢のあるまちづくりは、心が通うまちということで、もっと歩道をゆったり歩ければ、人の心も温まるのではないか。
- 「ウェット感、心が通うまち」ということを大事にしてまちづくりをしてはどうか。

#### ●住宅の更新

- 高齢化に伴い住宅地の中に廃家屋があり、空き家対策が必要。
- 一方、最近古い家が新しく建て替わってきている。

#### ●観光交流

- 観光的なバスの運行が必要。

#### ●公園の充実・楽しく遊べる

- 町内にある公園の整備が必要になってきた。
- 公園でボール遊びができたり、高齢者の運動器具類の設置が必要。

#### ●ゴミ問題

- 高齢によりゴミの分別ができない人が多くなってきた。



## (6) 東部西地域

### ● 東西道路

- ・ 商業の拠点として、様々な商業施設が多く立地しているが、そのために交通量が増大し、他に買い物に行くにしても大変になってきている。
- ・ 国道は渋滞するので、明野から三光町に渡れる道路がなく大変な状態。
- ・ 日の出町からイオンに抜ける通りができないか。

### ● 南北道路

- ・ 線路をまたぐ道路を整備し一本松から直接抜けられれば、渋滞も緩和できるのではないか。

### ● 港・災害

- ・ 港から住宅地が遠い感じがする。
- ・ 火山や津波については、比較的安全。

### ● イオン

- ・ イオンに鉄道駅をつくってはどうか。
- ・ イオンの屋上では、港まつりの花火大会は絶景なので、開放してほしい。

### ● 空き教室・ふれあい

- ・ 小中学校は、空き部屋が多くなっているので、子どもとの触れ合いの場として利用できないか。
- ・ 空き地を地域で使えないか。

### ● 都市機能

- ・ 病院やレクリエーション施設が少ない。



## (7) 東部東地域

### ● 交通の問題

- ・ 東部東地域の拠点が分かれているので、それぞれの地域間の移動手段が課題。
- ・ 自家用車を使う世代は不便を感じていないかもしれないが、将来的に高齢となり、自家用車を手ばなすときになった場合は不安が残る。
- ・ 植苗から沼ノ端鉄南に行くバスがない。
- ・ 札幌と往来するエアポート列車を運行してほしい。
- ・ 現在のデマンドバスは地元のコミュニティセンターに停まらない。
- ・ JR 沼ノ端駅を中心としたバスの整備が必要。
- ・ 勇払の交通が不便。JR がなくなるとさらに不便になる。
- ・ 空港が近い場所であるので、地の利を生かした、地域活性化策が必要。

### ● 都市機能の充実

- ・ 人口の割に都市機能が不足している。市内で唯一人口が増加している地域であるので、商業施設は結



構立地しているが、宿泊施設や高校がない。

- 高校など域外に出ている子供をこの地域で育てたい。
- JR 北側では、現在町内会館を共同で使っているが、活用頻度が上がっているので、会館の新設をしてほしい。
- 沼ノ端駅を降りてから、宿泊先がないので、駅前にほしい。
- 公園が小さいので大きな公園がほしい。
- ドローンを活用して用を足すことも考えられるのではないかと思う。

●**災害対策・安全対策**

- 津波の際に、車での避難は交通渋滞が起き不可能であるので、津波の避難経路の確保が必要。
- 子どもが多くなっているが、交通量も多いので、交差点など危険な箇所があるので、通学路の安全対策が必要。

以 上